

マーケットの動き (2024年11月11日～11月15日)

先週の国内株式市場は、前週末比で下落しました。

週半ばから、トランプ次期政権の経済政策への期待を織り込んだ「トランプ・トレード」への警戒心が一巡したとの見方から株価は下落しました。週末には、円安進行を受け自動車関連株やメガバンクの好決算から銀行株が買われ株価は上昇し、下落幅を縮める形で週を終えました。

投資環境見通し (2024年11月)

国内株式相場は次第に下値を切り上げる展開

企業業績については、堅調な設備投資に加えて所得環境の改善が個人消費の回復につながるとみられることから、全体として改善傾向を維持するとみています。国内株式相場は、衆議院議員選挙後の政権運営に加えて米国における大統領選挙後の新政権による政策動向を注視しつつも、当面は日銀の金融政策や政府による景気刺激的な財政政策に対する注目度が高まる中、投資家のリスク性資産を選好する動きに支えられ、次第に下値を切り上げる展開になるとみています。

	11月15日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX (東証株価指数)	2,711.64	▲1.11%	▲0.44%	▲0.70%	14.26%
日経平均株価	38,642.91	▲2.17%	▲3.18%	0.67%	15.28%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

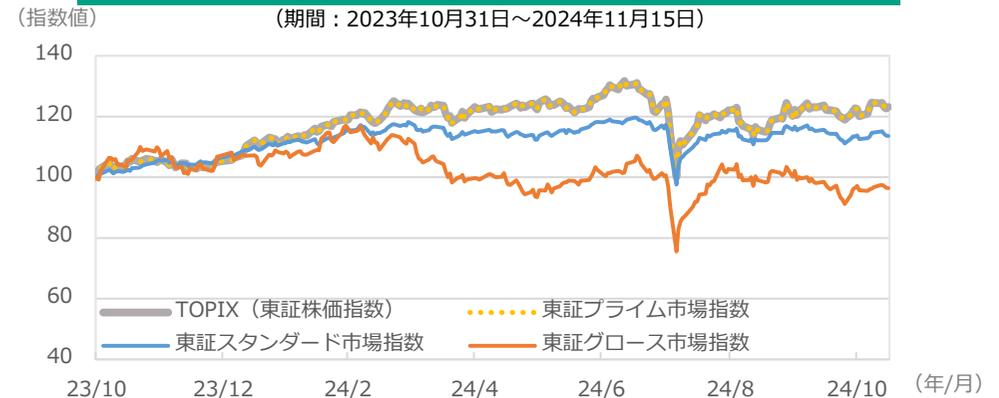
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202411_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日経平均株価、TOPIXの推移



東証市場別指数の推移



※2023年10月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成